

# りんご・もも部会特報 No.9



平成 29 年 11 月 17 日  
JA 中野市りんご・もも部会  
JA 中野市園芸課（技術）

サンふじの収穫最盛期に入りました。遅れていた成熟もここにきて、ようやく着色・蜜入りが上昇しました。ただし、果肉水分含有量が多く、果肉軟化は早かった昨年と同等かやや早い状況です。（実際の成熟調査でも果肉硬度低下は昨年より早い結果が出ています）ふじは食味・着色・ミツ入りの他に日持ち性の良さも重要視されます。中生種同様、果肉鮮度や酸味の程度を重視して収穫を進めてください。

ふじ特有の成熟期の『ツル割れ』が発生中です。早い時期に発生した大きなツル割れは、今後腐敗する恐れがありますので、早めに収穫を行い基準に従い出荷してください。併せて、光玉もハッキリと判断できますので、所定の方法で出荷してください。（集荷・出荷方法で不明な点は、各共選所までお問い合わせください。）

地区名	糖度(%)	硬度P	硬度(P)	ミツ入り
小田中	14.6	11.9	11.3	3.0
間山	15.2	12.8	12.3	2.3
越(らくらく)	15.9	12.5	12.0	1.7
越(百年)	14.1	13.9	13.0	1.7
岩井	13.6	12.5	11.7	4.7
平均	14.7	12.7	12.1	2.7

(参考) サンふじの適熟基準

- 糖度：14～15%
- 硬度：14～15P維持

ミツ入りは現状で指数 3 程度まで進んでいます。  
(指数 3：放射状の程度入り。程よい入り具合)  
思いのほか、果肉軟化が進んでいます。収穫遅れにご注意ください。

## ～販売から～

現在サンふじの収穫が始まっていますが、着色遅れによりなかなか進んでいません。まだ出荷ができずに売り場を開けて待っている市場が多くあります。

青森県も順次出荷がスタートしており、このままでは長野県の売り場が切り替えられてしまいます。売り場確保・維持のためにも適期に来ているりんごの収穫を進めていただき共選所への持込をよろしく願います。

## ■ 凍害対策

- ① 初結実の翌年は特に凍害を受けやすい。予防法としては主幹部(80cm 位まで)への白塗剤(フジホワイト)の塗布やわら巻き等の防寒資材の効果が高い。(白塗剤とワラ巻きを併用すると更に効果的)
- ② りんご若木：白塗剤の塗布は、樹体温の上昇を抑制する効果が高いので必ず実施する。
- ③ もも：8年生樹まで枯死が多発。必ずわら巻きを実施し、樹体保護に努めてください ⇒ わら巻きは、地際部から地上 80 cm 程度までの樹幹部に厚さ 5 cm 以上で実施してください。

## お知らせ(りんごふじ2年生苗木の注文について)

本年も2年生苗木を多数ご注文頂きましてありがとうございます。注文頂きました苗木の配布は、12月第2週を予定しています。(注文者の皆様へ後日配布通知申し上げます。)今しばらく苗木注文を受け付けています。生産性が低下した樹や不良系品種の更新のため、この機会にまとまった数量の苗木導入をご検討いただき、注文いただきますようお願いいたします。(百年ふじは完売しました)注文は園芸課担当又は最寄りの事業所総務経済係までお願いします。(営農センター TEL 23-3933)

## ■ 参考：選果結果速報 \*11/13 現在

品種名	秋映	スイート	ゴールド	サンふじ
平均糖度(%)	13.1	14.4	14.1	14.8
玉流れ	32>36>28	32>36>28	32>36>40	32>36>28
集荷量(前年対比)	115%	115%	97%	15%